

施設の自己評価

社会福祉法人ちひろ会びっこる保育園

1、保育理念

一人ひとりが輝く

子どもの尊厳を守り自主性を伸ばす場を提供する

保護者と地域の連携を密にし子どもの育成にあたる

保育の仕事に誇りを持ち保育技術の向上に日々努める

2、平成 29 年度取り組み目標

(1) 平成 30 年度施行保育指針に向けた取り組みを行う

①厚労省からの情報を随時入手

②園内研修の実施

(2) 園児の発達状況に応じた保育

①自我の芽生えを育む

②遊びの中で決まりごとの大切さを知らせる

③集団の中で見通しの持った生活を援助する

(3) 保育理念とその施策について職員全員が共通理解し活動する

①保育の振り返りと自己研鑽に努める

②利用者との信頼関係を深め個々に合った支援に努める

(4) 公開保育の実施

①第三者評価結果で未達部分の改善を踏まえた保育内容の公開

②他施設見学で得た知識、スキルを活用した内容

3、目標に対する取組

(1) 保育指針について

・外部研修、学習会へ職員 4 名参加。園内研修 2 回実施。

・年間指導計画作成時に副園長、主任が中心となり各保育士へ保育指針についての学びを深めている。

・オガールシステムの更新により保育指針が閲覧できるようになったため、指導計画作成時に参照しやすくなった。

(2) 園児の発達に応じた保育

・今年度より会議の体制を見直しクラスごとに会議を設けクラス運営及び個別の保育対応について検討することができた。

(3) 保育理念と施策

・保育理念に関しては、意識を持って業務に当たれるよう昼礼での復唱を継続し

ている

・保護者からのご意見やご相談には、超過勤務であっても保護者の都合に合わせて業務命令として対応した。

(4) 公開保育

・企画を担当者で立案し、保育所協議会や教育委員会からの後援を得て行うことが出来た。行政からの指導の下、当初の企画、計画より大幅に変更し行ったが、春からの育ちと継続した保育の取り組みを公開することができた。

4、総合的な評価

平成 29 年度は公開保育という大きな行事を行うことで、保育指針の学び、園児の発達に応じた保育とクラス運営、職員間の連携、他施設で研修したことや第三者評価結果の改善などに取り組むことができ、とても良い経験となった。

5、職員の自己評価(10 段階評価)

(1) 報連相の徹底…前期 4,7 後期 5,1

周辺情報を含めて報連相しており、上司、同僚と共に周知している

(2) コスト意識…前期 5,0 後期 5,3

使用を工夫し、量を減らしながら代用できるものを探し実行している

(3) 対応コミュニケーション…前期 4,9 後期 5,4

情報やアドバイスを正確に口頭や文章で自ら発信できる

(4) 職員の資質…前期 5,0 後期 5,3

気配り、心配りのあるマナーやエチケットを会得し実践している

(5) 専門知識の向上…前期 4,1 後期 4,4

段取り良く保育を進め、日々の振り返りや自己の能力を高め成果を上げている (保育)

自ら調理技術の研究を行い他の調理者へ指導、献立への提案を行い給食の全体向上に努めている (給食)

(6) 総合評価…前期 3,8 後期 4,1

前期職員面談を行ったことで各自の課題が見え、積極的に取り組むことが出来た。そのため、後期は自己評価が全体的に上がる結果となった。

「専門知識の向上」についてが全体的に低い評価となっているため、外部研修や園内研修の他にも専門的な知識が得られるよう専門情報の周知と学ぶ時間や指導法が施設としての課題と考えられる。

6、来年度の課題

ぴっころ保育園

(1) 法人理念、保育理念を全職員が理解しそれに沿って企画立案を行う

(2) 保育指針の運用に伴いその内容を理解し保育に活かす

(3) 第三者評価結果での未達事項の改善

(4) 法人内施設間の連携と地域貢献

ぎんどう保育園 (H30,5月開所予定)

(1) 小規模保育所運営の基盤確立

①年間、一日の保育の流れと職員の動き

②中長期計画の具体化

③未満児保育に適した環境作り。主に月案の環境構成の重視及びリスクマネジメントを全職員で取り組み重大事故の予防

④職員育成

⑤広報活動の推進

(2) 職員の交流推進